

# 牛久：学校周辺に見る自然

第46号 中根小，ひたち野うしく小

2010年11月07日発行

## ＜秋の水辺公園～ドングリもたくさん拾いました＞

水辺公園観察の続きです。今回は、夢中になって、たくさん拾い集めたドングリの紹介。ドングリの仲間は何れもブナ科というグループに入り実も似ていますが、よく見るとおわん(殻斗)の様相や木肌など違いもいろいろあります。それらの特徴をまとめてみましょう。



### コナラ

コナラは春に花が咲くと花粉は風によって届けられ、その年の秋におわん(殻斗)がうろこ模様をしたどんぐりが成熟して落ちます。葉も秋に黄や赤に色づいて枯れ落ちます。木肌はややなめらかだけど不規則に縦に長く割れます。



### シラカシ

シラカシも花粉は風が運び、花が咲いた年の秋におわんがしま模様(しま模様)のどんぐりが成熟して落ちます。コナラやクヌギなどと違い、冬でも緑の葉をつけています。木肌には割れ目はないけれど、手でなでてみるとざらざらしています。



### クヌギ

クヌギも花粉は風が運びますが、どんぐりは1年目は小さく、2年目の夏から急に大きくなり、うろこ模様のおわんのりん片がそり返っていが状になり秋に成熟して落ちます。葉は秋に黄色に色づき枯れ落ち、木肌は不ぞろいに深く割れ目が入りゴツゴツしています。



### クリ

クリは上の3種と親せき関係が少し遠く、花粉は昆虫が運び、実は花の咲いた年の秋に熟し、刺をたくさんつけたイガ(おわんにあたる)に包まれます。葉は秋に黄色く色づいて枯れ落ち、木肌はなめらかで縦に割れ目が入ります。



その他ドングリかなあと迷ったものに、左の虫こぶ(クヌギハケタマフシ)と右のエゴノキの種子がありました。エゴノキの種子はカラ(果皮)がないとスタジイのどんぐりによく似ていますね。

【理科支援員・宮内】